

平成20(2008)年10月25日第107号

学校だより

朝晩は気温が下がり、日中の日差しは随分と和らいできました。11月18日(土)は雲一つない青空が広がり、気温も高くなく過ごしやすくなりました。行事予定では、この日が運動会になっていただけに、朝から、「この恵まれた天候のもとで運動会をやりたかったなあ。」という声が聞かれました。

幼稚園から小学部4年生まで、運動会の代わりに、学級や学年で競技や演技を企画しています。この日は、小学部1年生と4年生が、日本の運動会の伝統種目を行いました。

ミニ運動会

小学部1年生は、3校時と4校時に「紅白玉入れ」「大玉ころがし」「リレー」を行いました。



「紅白玉入れ」なのに、入れる籠(かご)は一つしかありません。どうするのかなと思っていたら、赤白に別れた子どもたちは、一斉に籠に玉を投げ込んでいました。うまく考えたものです。大人にとってはそんなに高くない籠の高さも、小学部1年生にとっては見上げる高さです。玉を投げ慣れていないことも加わって、なかなか玉が籠に入りません。一生懸命に玉を投げては拾い、拾っては投げていました。

籠に入った紅白の玉を子どもたちが数えながら、担任の先生が上に投げていました。結果は2連勝で赤組が勝ちました。

「大玉ころがし」は、赤い大玉に体をころがされた子どもが何人かいました。うまくひっくり返りながら、すぐさま体勢を立て直しては大玉をころがし、次の2人組に大玉を渡していました。大玉に体勢を崩され、小さな体が倒れる場面を見てハッとさせら

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

れました。防衛本能が働くのでしょうか。けがをしないような体の使い方をしていました。

子どもたちの次に、保護者同士で大玉ころがしです。お父さん、お母さんは子どもたちに負けじと体を動か



していました。力が余って、大玉がころがらず、バウンドしてしまう場面も見られました。

途中から、幼稚園児が自分たちで作ったメガホンを持って、応援に来てくれました。どうも、ありがとう。幼稚園は25日に予定されています。きっと自分たちの次週のミニ運動会を心待ちにしながら、お兄さん、お姉さんの応援をしていたのでしょうか。次はあなたたちのお父さんやお母さんがビデオやカメラ片手に力いっぱい応援してくれますよ。

小学部4年生は、4校時に実施しました。前週に撮影した若田宇宙飛行士激励DVDの内容を来てくださった保護者に披露していました。

その後、「綱引き」では子ども同士、親同士という形を取り、クラス対抗で綱を引き合いました。また、「父親・母親」対「子ども」も行い、両組とも「子ども」チームに軍配が上がりました。

次に行われた「リレー」を見ていると、他学年も含めて、リレーに選ばれた人は、トラックを力いっぱい駆け抜けたかったことだろうと思いました。

保護者のみなさんは、子どもが忙しい日課の中で生活している時の顔、懸命に学習しているときの顔、

力いっぱい運動しているときの目や顔の表情の違いに気づかれたことでしょう。

本当に子どもの心と体の成長は早いものです。



1 分間スピーチ (2)

先週に続いて、一分間スピーチ「ハリケーン“アイク”」の原稿を掲載します。

中学部 1年 伊勢 尚輝

これからハリケーン“アイク”についてスピーチをします。

僕は、オースティンに五泊しました。先に帰った父と同じ会社の人が、家に電気が戻ったと連絡してくれたので、六日目の夜、家に帰りました。

帰ってみたら、家の前の松の木の枝が折れて垂れ下がっていて、小さな枝や、松ぼっくりが数え切れないくらい散乱していました。庭は、大きな木が根こそぎ倒れていて、木のフェンスも雨どいも一ヶ所壊れていました。近所の家はどれも同じような状態で驚きました。枝がたくさん落ちて大分見通しがよくなってしまいましたが、浸水が無く、家の中は無事だったのでよかったです。

後片付けやそうじは大変だったけれど、ホテルで見たガルベストンの映像を思い出すと、うちは無傷も同然だと思いました。ただ、なぜかハリケーンの後、家の中にアリが大量に出るようになり、気持ち悪いです。これでスピーチを終わります。

ありがとうございました。

中学部 1年 野口 美樹

これから私のスピーチを始めます。

ハリケーンアイクが去って、避難先から家に帰ってから、私達は五日程電気の無い生活を体験しました。

電子レンジ、洗濯機、ライト等、普段の生活に欠かせない電化製品が使えなくなり、私達はまるでキャンプしているかタイムスリップしたかの様な生活を送っていました。

洗濯物は全て手洗いで、FEMAが配っていたMRE（非常食）を貰ってその有効さに地味に感動したり、友達とボランティア活動をしたり、夜、真っ暗な中、懐中電灯を照らして家中を意味無く走り回ったして意外と楽しい事がありました。

普段あんなに愛用していたパソコンが使えないのは、ある意味拷問に近かったけれど、その五日間で私は普段からどれだけ電気に頼っているかが分かりました。

それでも、六日目の朝、電気が戻った時には歓喜のあまり家族全員がパソコンやテレビを使いまくって、折角五日間続いたエコ生活が一瞬のうちに終わった事は言うまでもありません。

これでスピーチを終わります。ありがとうございました。



< 訂正とお願い >

① 教育相談について

11月8日(土)、9日(日)に実施される教育相談の申し込み書の中に書かれていた日にちが11月3日(土)、4日(日)になっています。8日(土)、9日(日)に訂正いたします。申し込み書の締め切り日が本日になっています。もし、提出し忘れたご家庭がありましたら、28日(火)に事務局に持参されるか、事務局まで電話連絡の上、FAXを利用してください。お子様にも提出したかどうかご確認してください。

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795

INFOEの松本輝彦先生が、ヒューストンまで来校してもらえそうな学校に声をかけ、現在、尽力してくださっています。各校とも来年度の入試業務と重なり、大変忙しい状況であると聞いています。茗溪学園から柴田 淳校長先生が出席される連絡を受け取りました。最終案内を11月1日(土)にします。

② アンケート調査のご協力のお願い

(中学生・高校生とその保護者が対象です。)

「異文化に暮らす子どもの心の健康と適応」について、ニューヨーク日本人教育審議会の教育文化交流センター・教育相談室からの協力依頼です。“この調査の予備調査の段階で、補習校にとっても有益な情報が得られそうな傾向が出ているのでぜひとも多くの方々に参加していただくことで、その傾向を確認できれば”ということでした。

調査の手順や内容は、校舎事務室や三水会センターにも置いていますが、調査用紙の枚数が多かったのでウェブサイトに載せています。中高生及び保護者のみなさん、ご協力をお願いします。

◆パトロール当番予定表11月 1日◆

～よろしくをお願いします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1	リーダー	幼	1 1 松永 憲多郎
		2	1 3 吉野 春香
		3	小2 3 3 野澤 理紗
		4	幼 1 5 斎藤 美鳥
		5	1 6 原津 侑太
		6	1 7 吉川 慧
		7	小2 4 0 大川 佳鈴
★PM1	リーダー	幼	1 8 横山 遥土
		2	1 9 中村 太紀
		3	2 0 折橋 健太
		4	2 1 有賀 桃花
		5	2 2 砂田 枝菜
		6	小2 1 7 永田 玲央名
		7	3 9 島崎 奏南

